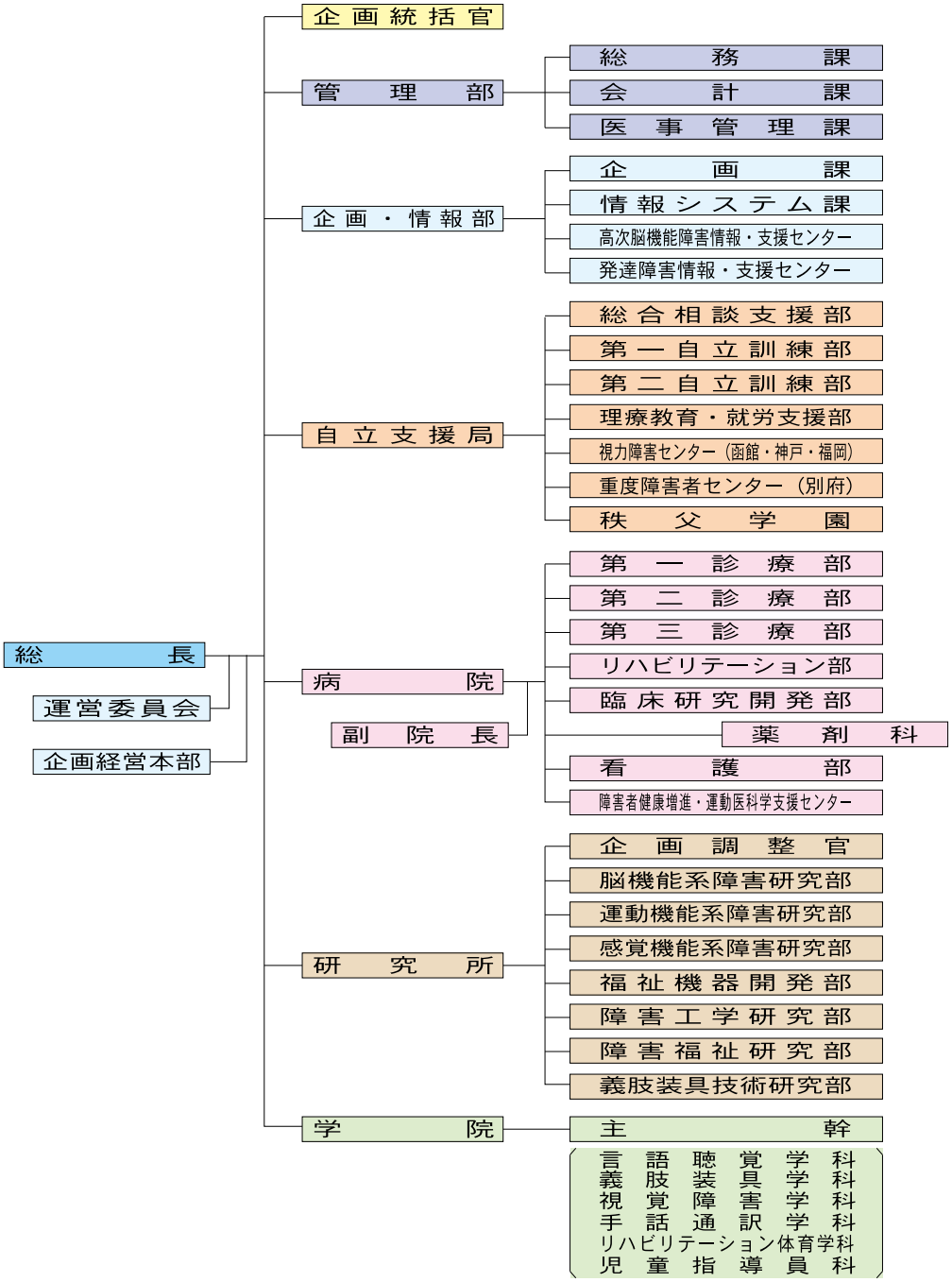
組織の概要

■歴史

1979年　国立身体障害者リハビリテーションセンターの設置
（国立身体障害センター、国立聴力言語障害センター、国立東京視力障害センターを統合）
2008年　名称を「国立障害者リハビリテーションセンター」に改称
厚生労働省から発達障害情報センターを移管（2011年に発達障害情報・支援センターに改称）
2010年　自立支援局の設置（更生訓練所、視力障害センター、重度障害者センター、秩父学園を統合）
健康増進センターの開設（2013年に障害者健康増進・スポーツ医科学支援センターに改称、
2015年に障害者健康増進・運動医科学支援センターに改称）
2011年　高次脳機能障害情報・支援センターの開設
2018年　支援機器イノベーション情報・支援室の開設

■組織の概要



国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局　**函館視力障害センター** 北海道函館市湯川町１－３５－２０　電話　0138-59-2751 http://www.rehab.go.jp/hakodate/　FAX　0138-59-4383 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局　**神戸視力障害センター** 兵庫県神戸市西区曙町１０７０　電話　078-923-4670 http://www.rehab.go.jp/kobe/　FAX　078-928-4122 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局　**福岡視力障害センター** 福岡県福岡市西区今津４８２０番地の１　電話　092-806-1361 http://www.rehab.go.jp/hukuoka/　FAX　092-806-1365	障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設として、視覚障害者に対する就労移行支援（養成施設）、自立訓練（機能訓練）及び施設入所支援の障害福祉サービスを提供しています。
国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局　**別府重度障害者センター** 大分県別府市南荘園町２組　電話　0977-21-0181 http://www.rehab.go.jp/beppu/　FAX　0977-21-2794	障害者総合支援法に基づく指定障害者支援施設として、肢体不自由者（主として頸髄損傷者）を対象に、自立訓練（機能訓練）及び施設入所支援の障害福祉サービスを提供しています。
国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局　**秩父学園** 埼玉県所沢市北原町８６０　電話　04-2992-2839 http://www.rehab.go.jp/chichibu/　FAX　04-2995-2253	児童福祉法に基づく指定福祉型障害児入所施設として、知的障害のある児童を対象に、福祉サービスを提供しています。

上記電話番号は代表電話です。各施設の利用等の相談窓口は、支援課（秩父学園については地域支援課）となっております。

■所在ＭＡＰ

■ 施設の概況

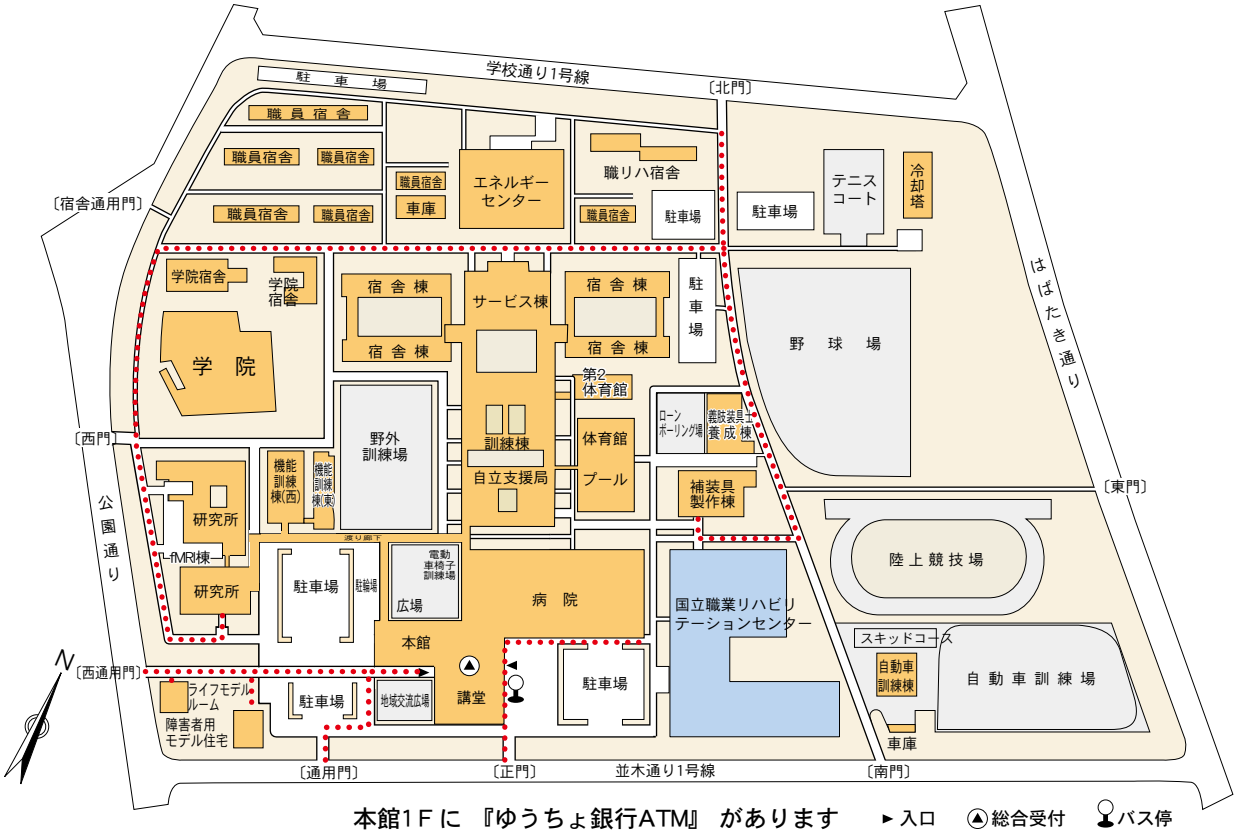
- ●着工年月……1976年９月
- ●設立年月……1979年７月
- ●敷地の面積……225,180㎡
- ●建物の延面積……101,492㎡

病院	19,956㎡	補装具製作棟	1,675㎡
訓練棟	7,128㎡	学院	8,475㎡
機能訓練棟(東・西)	6,353㎡	学院宿舎	4,344㎡
入所者宿舎	17,552㎡	義肢装具士養成棟	1,394㎡
体育館(プール)	3,728㎡	本館・講堂棟、他	25,302㎡
研究所	5,585㎡		

（2017年３月現在）

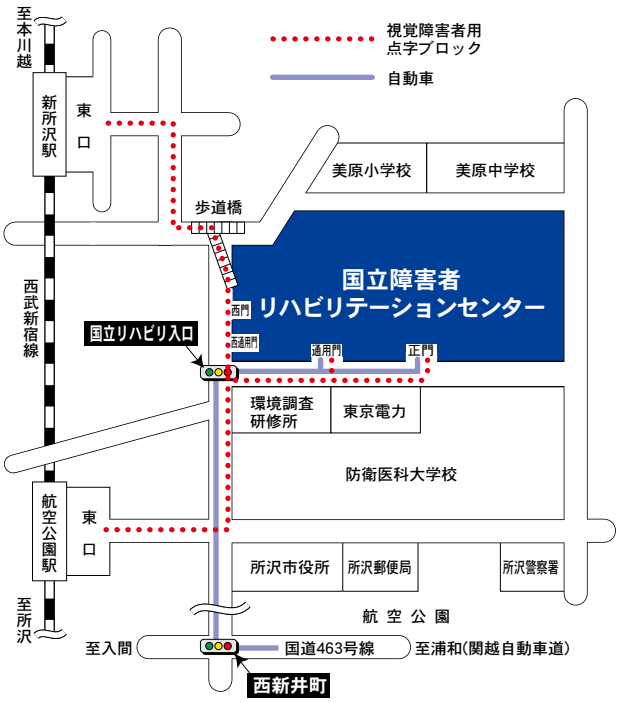
■ 施設配置図

視覚障害者用点字ブロック



本館1Ｆに 『ゆうちょ銀行ATM』 があります　►入口　▲総合受付　バス停

■ 案 内 図



■ 交通案内

●西武新宿線

西武新宿駅

高田馬場駅 JR山手線接続

（急行40分）

●西武池袋線

西武池袋駅

（急行25分）

所沢駅のりかえ

（各停2～3分）

「航空公園」駅又は「新所沢」駅下車

（徒歩約15分）

センター

1. 航空公園駅、新所沢駅には車イス利用者のためのエレベーターが設けられています。
2. 航空公園駅、新所沢駅（東口）からセンターまで点字誘導ブロックが敷かれています。
3. 航空公園駅からリフト付き市バス（ところバス）が運行されています。市内にお住まいの障害者の方は特別乗車証を提示することにより無料で利用できます。
4. 所沢駅からセンターまでタクシーを利用すると約10分です。航空公園駅、新所沢駅からはタクシーで約５分です。

●関越自動車道

所沢インターチェンジ「所沢方面」出口

（センターまで約30分）

センター見学については、企画課までお問い合わせ下さい。
国立障害者リハビリテーションセンター企画・情報部　企画課
電　話　04−2995−3100　（内線　2147）
ＦＡＸ　04−2995−3661　（企画課直通）

※　本パンフレットには「ＳＰコード」を付しています。専用読取装置により活字（墨字）を音声で読み取ることが出来ます。

※　本パンフレットに掲載された写真については、それぞれご本人の了解を得ています。

2019. 1月発行